



四季報

平成29年
6月1日発行
第10号

広報編集室 TEL: 029-879-7351 FAX: 029-879-7352 つくば市天王台1-1-1 筑波大学人間系(共同研究棟 A408)

2016年度みんなラボ第5回総会報告

第5回総会は3月17日会員・関係者46名出席のもとに開かれました。総会開催に先立って研究成果発表会がポスター展示形式で行われましたが、説明員の話に真剣に耳を傾ける会員の姿が、印象的でした。会員参加型の総会は、机がなく椅子のみだったせいか、いつもよりまとまった感じでした。以下総会報告の概要を記します。

2016年度活動報告

○みんなラボニュース

●登録会員は現在221名。年齢は51歳から89歳、平均年齢は72歳の会員で構成されています。

●みんなラボは大学構内に引越しました。

●みんなラボとの共同研究に基づき、2018年度稼働予定の「自動出入国審査システム」のシステム構築が落札されました。

●文部科学省の科学研究費助成金(基盤A)を受けて、基礎研究についても大型研究を始めました。

○みんなラボカフェ

●第38回花王のユニバーサルデザインの取り組み・よきモノづくりのために…花王(株)

●第39回快適バスライフのすすめ…東京ガス(株)都市生活研究所

●第40回食べる時間と体内時計…食品総合研究所大池秀明氏

●第41回みんなまで、みんなラボの歌を作ろう!…藤原智子さん(作詞)・真間麻美さん(作曲)

●第42回みんなラボの歌で踊ろう!〜振り付け体験〜 筑波大学大学院佐藤文音氏

●第43回人の生活を人工知能が変える?ほん

とに?…日本IBM(株)ワトソン事業部

●第44回健康寿命と化粧・身だしなみのちら…資生堂ジャパン(株)

●第45回緊急報告!新たに導入される自動出入国管理システムについて

●第46回クリニックから始めた、健康系デバイス(機器)を使った医療費削減への取り組み…習志野台整形外科内科・メディカクラウド(株)宮川一郎氏

●9号 3月1日



○みんなラボ使いやすい検証&研究活動

●お台場使いやすい調査

●自動運転の加速度評価

●基礎化粧品

●図書館の自動貸出機

●キッチン使いやすい

●しゃべるコーヒーマーカー

●自動出入国システム…実証実験 など

○みんなラボ研究活動

★修士論文(原田研)・エージェントのデザイン(長谷川)

★卒業論文(原田研)・ビデオマニュアルのわかりやすさ(遠藤)・図書自動貸出機(小野)・

加速度評価と音の効果(安藤)・高度運転支援システムの学習について(星野)・お台場使いやすい調査による世代間イメージの変化(小山)など

2017年度みんなラボコミュニティ活動

●みんなラボ研究員プロジェクト(病院チーム)

●広報誌編集委員会「みんなまでみんなラボを活性化するグループ会議!」参加者募集!

●土曜会議 食の会…みんなラボレシビ、みんなラボ遠足+「インプロ(即興)」活動

●「健康自慢の会」

●「幸せの黄色いレシート」活動

●自分史サークル

みんなラボ人事異動

2016年

ラボマネージャー 萩野真由美 9月末退職

ラボマネージャー 浜崎藍 着任

研究員 山田涼馬 11月着任 3月離任

研究員 宮代こずえ 4月着任 1月末離任

事務サポート 松村富士子 11月着任

研究員 栗延孟 3月離任

研究分担者 富田瑛智 3月離任

*原田研 長谷川利子 卒業(修士課程修了)

2017年

4月から着任

研究員 水浪田鶴 原田佑規



人の生活を人工知能が変える？ ほんとに？

人工知能って何？

秋晴れがえわたる11月、筑波大学3B棟プレゼンテーションルームにて第43回 みんなラボカフェが開催されました。「人の生活を人工知能が変える？ほんとに？」と題して日本IBM(株)ワトソン事業部の川口克己さんに講演頂き、そのあと質疑応答を交えてのディスカッションをいたしました。今、話題の最先端にあるAI(人工知能)技術とあって、会場は熱気に溢れかえっていました。そもそも人工知能とはなんなのでしょう？定義としては、コンピュータの上人工的に人間と同様の知能を実現させようという一連の基礎技術をいうわけですが、理論的には理解できても、そう簡単に人間の頭脳と同じような働きができるわけではありません。

しかし研究者・技術者は、人工知能に人間のやっていることが「できるだろうか」という問いかけから始め、今や人工知能に「できないわけがない」という確信に変わりつつあるようです。

IBMワトソンのあゆみ

人間の頭脳に近づく人工知能(IBMではワトソンと呼んでいる)の歴史は人工知能という言葉の誕生から始まって、「人工対話システム」「専門家の知識をもとに推論するエキスパートシステムの開発」へとつながり、ついに1997年にはチェスでトップとなり、またつい最近では囲碁で世界屈指の棋士(九段)に勝利したことが驚きをもって報道されました。2045年頃にはいよいよ人工知能搭載の人間型ロボットが目に見えるかも？という話もありました。IBMワトソンは、2011年にア

メリカのクイズ番組で、74連勝中の連勝王に勝利して歴代最強チャンピオンの座についたことで一躍有名になりました。その歩みを見ると、

- ・2006〜2010まで 基礎研究
- ・2011 クイズ番組挑戦
- ・2011〜2013 実用化の検証
- ・2015 現在迄 事業化の段階

ワトソンの特徴は言葉や文章を自然言語で理解すること、経験を知識として学習して解答への信頼度を上げ、その根拠を提示できることにあります。

人工知能が命を救う

ワトソンは事業化の一環として医療/ライフサイエンスにも力を入れています。創薬の開発、がん診断支援、ゲノム医療、医療・健康情報収集の分析等に役立っています。最新では東京大学医科学研究所との共同開発において、東大が持つ日本人患者のデータ等で分析した遺伝子情報をもとに、2500万件を超える病名診断の例の中から、個別の患者に適した治療方針を提示、その時には1秒で7億ページもの論文を読み解いて、最短10分程度で回答するそうです。

報道によれば、どこの病院へ行っても原因の分からなかった、診断の難しい60代女性患者の白血病についても、10分程で適切な治療法を助言した結果、命に係わる難病を克服し、健康回復に貢献したそうです(2016年8月日本経済新聞)。その他、営業の現場でも活躍しており、コールセンターでの営業支援、或いは顧客サポートサービス、金融/保険サービス・金融商品提案アドバイスシステム等のユニークな人工知能活用方法の紹介もありました。人工知能

の活用で人の生活が変わる。IBM流に言えば「人が、生活を人工知能で変える」将来がもう目前に迫っているわけです。

今回の講習会での質疑応答の場面では、人工知能が、記憶力では人間を凌駕するようになりましたが、判断をする力はまだ今後の研究に寄るところが大きいこと、人間がどういう考え方をするのか/できるのかという人間の思考のメカニズムについては現在解明中ということなどが補足説明されました。さらに、人がしゃべっている内容、語調から相手の気持ちを判断する。もう一つ進めると相手の表情、しぐさから相手の意思をかんじとり、予兆を感じ取るというようなことができるようになるかもしれない、そうすれば「介護ロボットとして、現場での活躍が期待できるようになる日もそう遠くはないでしょう」とのことでした。

(根岸)

「人工知能」とは？

人工知能(じんこうちのう、英: artificial intelligence, AI)とは、人工的にコンピュータなどで人間と同様の知能を実現させようという試み、或いはそのための一連の基礎技術を指す。

- Wikipedia

人工知能は「できないわけがない」!

人間(脳) ↔ コンピューター(CPU)

IBM Watson

おもしろデザイン発見記！

先日トロントへの学会出張の折、スーパーでミントティを買ったのですが、開けてみると少し変わった形のティーバッグが出てきました。丸い形のバッグ(写真1)から、持ち手の紙を剥がして、すると糸を引っ張るとティーバッグらしい形になります(写真2)。そのままカップに入れて香りを楽しんでいましたが、そのうちにふと「どうしてこの紙に切れ目が入っているのかしら?」と思い、「疑問に思った時間が実験時!」と、お茶を飲みながら「えい!」と左右に引っ張ってみました。すると(写真3)なんと、糸

がバッグの周りにめぐっているのです。しっかり水分を絞って、無駄なく飲むことができるデザインでした!単に「丸くてかわいいデザイン」と思っていたティーバッグ、実はなかなかのすぐれモノでした。みなさんもぜひ、「これは面白い!」というモノを見つけられましょう。ぜひ〈みんなラボ広報編集室〉まで情報をお寄せください!

(原田悦子)

「後日談」と、自分では大発見のつもりでしたが、今回写真を撮るためによく見ると、ちゃんと箱に「こん



写真1 丸くてかわいいティーバッグ



写真2 糸を伸ばすとティーバッグの形に



写真3 持ち手の紙を切るときゅっと絞れます!

な便利なティーバッグだよ!」と書いてありました。「ユーザは容器に書いてあることを読まない!」ことを自ら実行してしまいました!(反省)。



贈呈式の参加者

第三回 桜会議

開花宣言は早かったものの、寒の戻りもあり桜の花は、まだつぼみが多かったのですが、風もなくおだやかで暖かい日となった3月30日(木)、チラホラ咲き始めた桜のもとで第三回みんなラボ桜会議が開催されました。みんなラボ会員13名、事務局員4名、大学院生、研究員、四月より新天地へ行かれる富田先生、お忙しい原田先生も駆けつけて下さり、総勢二十数名の大宴会?となりました。

一品持ち寄りということで、みんなの得意料理のオンパレード!!煮たまご、サラダ、人参のきんぴら、かいつかの焼いもの差し入れ、みつおまんじゅう、海外みやげと、それは

それは「おおご馳走」でした。あちらこちらで小さな話の花が咲き、ときにはビールや酒、ワイン、ジュース片手に移動して新しいメンバーとの交流をはかり、みんなラボカフェや会議の時には見られない、その人々を知る良い機会でもありました。

こうして筑波大学天久保池に集まった人たちのそれぞれの物語を聞きました。これからもいろいろな場で、70年、80年と生きてきた人たちのそれぞれの物語を聞く事でしょう。来年も、この場所この「桜会議」で元気にお会いしましょうね。

(落合、鶴川)



第3回桜会議 3月30日

幸せの黄色いレシート 贈呈式

平成29年4月11日イオンモールつくば2階イーストコートにて、幸せの黄色いレシートの活動団体に対し、贈呈式が行われました。

みんなラボからは今回、篠原、田内、松村の3名が参加しました。昨年の4月より今年3月までの1年間の実績により、イオン様より助成金額分のイオンギフトカードが贈呈され、みんなラボは40,600円でした。その後各団体代表より活動報告があり、みんなラボは松村が報告しました。

会員の皆様から毎月11日の「幸せの黄色いレシートデー」にたくさんのご協力をいただいた成果だと思えます。本当にありがとうございました。

この助成金はみんなラボ活動に有効に利用させていただきます。また、会員皆様より有効利用のご提案をお待ちしております。今後とも何とぞご協力をお願いし、御礼とさせていただきます。(篠原、田内、松村)





四季報

が置いてあるところ

■市役所・官公庁

- つくば市役所・関係部署
- つくばみらい市役所
- 牛久市役所
- 土浦市役所
- 守谷市役所
- 取手市役所
- 龍ヶ崎市役所
- 阿見町役場

■筑波大学及び病院関係

- 筑波大学
- 筑波大学付属病院
- 筑波メディカルセンター病院
- 筑波記念病院
- 筑波学園病院

■市・公共団体

- つくば市社会福祉協議会
- つくば市シルバー人材センター
- つくば市民大学
- つくば市民活動センター
- つくば市ふれあいサロン
- 阿見町中央公民館
- 阿見町本郷ふれあいセンター
- 阿見町君原公民館
- 阿見町カスミ公民館
- 阿見町舟島ふれあいセンター
- 牛久市社会福祉協議会
- 牛久市シルバー人材センター
- 牛久市エスカードビル
- 牛久市生涯学習センター
- 牛久市ボランティアセンター
- 牛久市中央図書館

編集者紹介

【みんラボ会員】

石津、石橋、今井、鶴川、落合、篠原、田内、長門、根岸、星、本田、柳井、吉村

【筑波大学大学院生】

田中、広瀬、池永、王、吉本

【教員スタッフ】

原田、茂呂、葛岡、須藤

【みんラボ事務局】

浜崎、松村、水浪、原田

事務局だより



水浪研究員



原田研究員

4月から水浪田鶴(たづ)と原田佑規がみんラボの研究員に着任しました。

水浪田鶴は、2017年3月までつくばの産業技術総合研究所に在籍していました。専門は、主に高齢者の音の聞こえ方や、報知音・音声などの設計に関する研究です。

原田佑規は、2017年3月まで九州大学大学院に在籍していました。専門は主に、危険なものに対する視覚認知です。例えば、武装した人物を目撃するときの視線の動きなどを研究してきました。

2人とも、誠心誠意みんラボの活動に携わりますので何卒よろしく願います！

みんラボの新メンバー紹介

根岸編集長退任

創刊以来第9号まで四季報の編集長を担当されてきました根岸氏が、ご都合により退任されることになりました。

第5回みんラボ総会の場で、今までのご功勞に対し感謝状と記念品が贈呈されましたので、ご報告いたします。

尚、今後の四季報の編集は、しばらく編集長の席を空席とし、創刊以来編集に携わってきた部員を中心に合議により、継続して発行していく予定です。

部員については、現在も募集中ですが、今後も引き続き継続して募集していく予定です。興味のある方のご応募をお待ちしております。

(田内)



感謝状の贈呈

編集後記

みんラボ四季報は、創刊から三年を迎えました。この間、根岸編集長には創刊から第9号発行まで御世話になりました。大変なご尽力と頑張りに対し、感謝申し上げます。今回の根岸さんの辞任に伴い、第10号は新たなスタートになりました。新たな気持ちで、編集長不在のまま、編集委員は右往左往しながら、第10号の発行となりました。

第三回さくら会議の頃から、編集にとりかかった本号も、暑い夏になってしまいました。これからも「使いやすさの検証実験・「みんラボカフェ」・「土曜会議・土曜サロン」・「食の会」等面白い盛り沢山の新しい記事を、掲載して行きたいと思っています。また、みんラボ会員、その他多くの方々にもお読み頂けるように、編集委員全員頑張ってくださいます。会員の皆様も興味ある記事をご投稿下されば、幸いです。

(吉村)

お問い合わせ

みんなの使いやすさラボ

〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学人間系(共同研究棟A408)
 TEL : 029-879-7351 (受付)月~金9時~17時
 FAX : 029-879-7352 e-mail:mado@tsukaiyasusa.jp